【第９回分科会資料】

補足資料

１．昭和 33 年 9 月洪水、昭和 34 年 8 月洪水の
被害状況について ･･･P1

２．Ｋ、Ｐの設定(補足)について ･･･P4

３．河道内貯留(大正橋～上福島)について ･･･P7

４．昭和 22 年 9 月洪水の氾濫量の推定について
(参考) ･･･P11

平成 23 年 6 月 8 日

現在、新たな流出モデルの構築と並行して、雨量及び流量の点検を進めてきており、本資料はこれまで（平成 23 年 6 月 8 日）の雨量及び流量データの点検結果を用いて作成している。

１．昭和３３年９月洪水、昭和３４年８月洪水の被害状況について

○昭和３３年９月洪水、昭和３４年８月洪水における八斗島地点のピーク流量として実測流量（流観）の最大値及びピーク水位として水位流量観測所時刻水位の最高値は次のとおりであり、計画高水位を越える洪水ではなかった。

◆昭和３３年９月洪水

	ピーク流量（m3/s）	ピーク水位（m）	計画高水位（m）
八斗島地点（181.5km付近）	９，７０２	４．２７	５．２８

・直轄管理施設の被害：利根川上流　護岸流失１箇所、烏・神流川　水制流失３箇所

◆昭和３４年８月洪水

	ピーク流量（m3/s）	ピーク水位（m）	計画高水位（m）
八斗島地点（181.5km付近）	９，０７０	４．１０	５．２８

・直轄管理施設の被害：利根川上流、烏・神流川における被害無し。

○一方、群馬県に確認したところ、「利根川本川及び大きな支川において、破堤や越水は確認できていない。なお、平野部における内水氾濫や山間部における土石流被害等は当時の新聞等から確認できる。」との回答を得ている。主な新聞記事の確認結果は下表のとおりである。

◆昭和３３年９月洪水

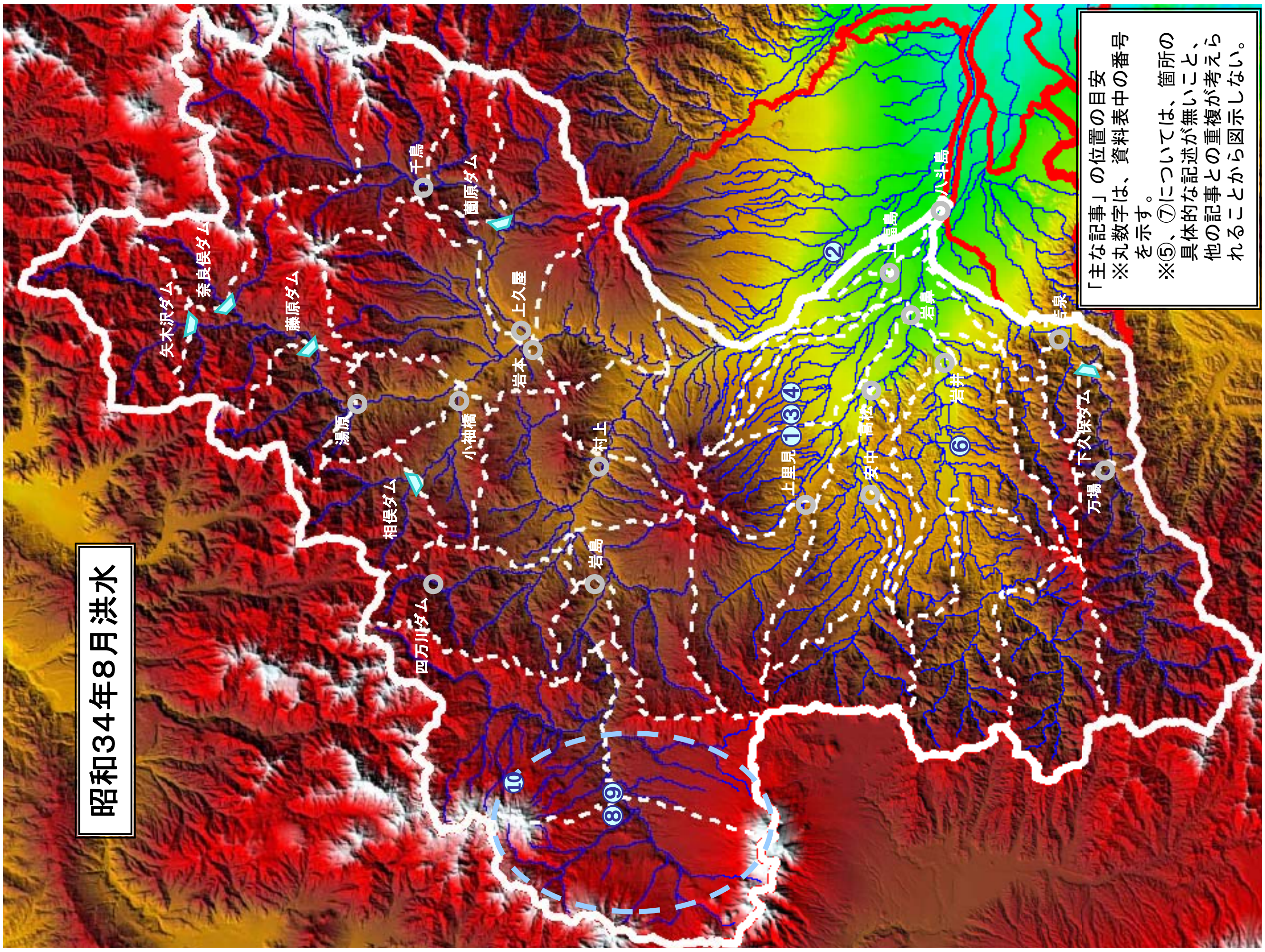
番号	河川名	主な記事	記事掲載日
1	増田川	…松井田町地内の増田川では小学生四人を丸呑みにし惨状を展開した。	9月18日夕刊
2	（県内）	正午現在県警本部警備課に入った情報によると、被害は次のとおり。　…堤防決壊３…	9月18日夕刊
3	碓氷川	高崎市乗付地内の八千代橋の碓氷川にかかっている部分が十八㍍流失	9月18日夕刊
4	（甘楽西部地区）	甘楽西部地区は二百ミリの豪雨で河川がはんらん、土砂崩壊など被害が続出しているが、…	9月18日夕刊
5	衣沢	高崎市寺尾町長坂炭鉱は衣沢の増水で社宅が床下浸水となり…	9月18日夕刊
6	増田川	…増田川の増水を見物中、突然足元の土砂が崩れ、アッという間に濁流にのまれた。	9月18日夕刊
7	カニ川	…碓氷郡安中町板鼻地内カニ川（幅二㍍、深さ一㍍五〇）の暗渠に流木などがつかえてはんらん、…	9月18日夕刊
8	久洞沢	利根郡新治村布施地内久洞沢が出水、…	9月18日夕刊
9	荒久沢	県道高崎－富岡線高崎市乗付町地内荒久沢の小倉橋（長さ十㍍）が流失、…	9月18日夕刊
10	鏑川	十八日あさ八時十分ごろ多野郡吉井町岩崎地内岩崎橋＝木橋百六十七．六㍍巾二㍍（県道吉井線）は増水のため流出、…	9月18日夕刊
11	（県内）	台風21号被害状況（9.18日午後５時現在　県警察本部調べ）　…堤防決壊３個所…	9月19日朝刊
12	（県内）	県警発表被害状況　…堤防決壊六…	9月19日夕刊

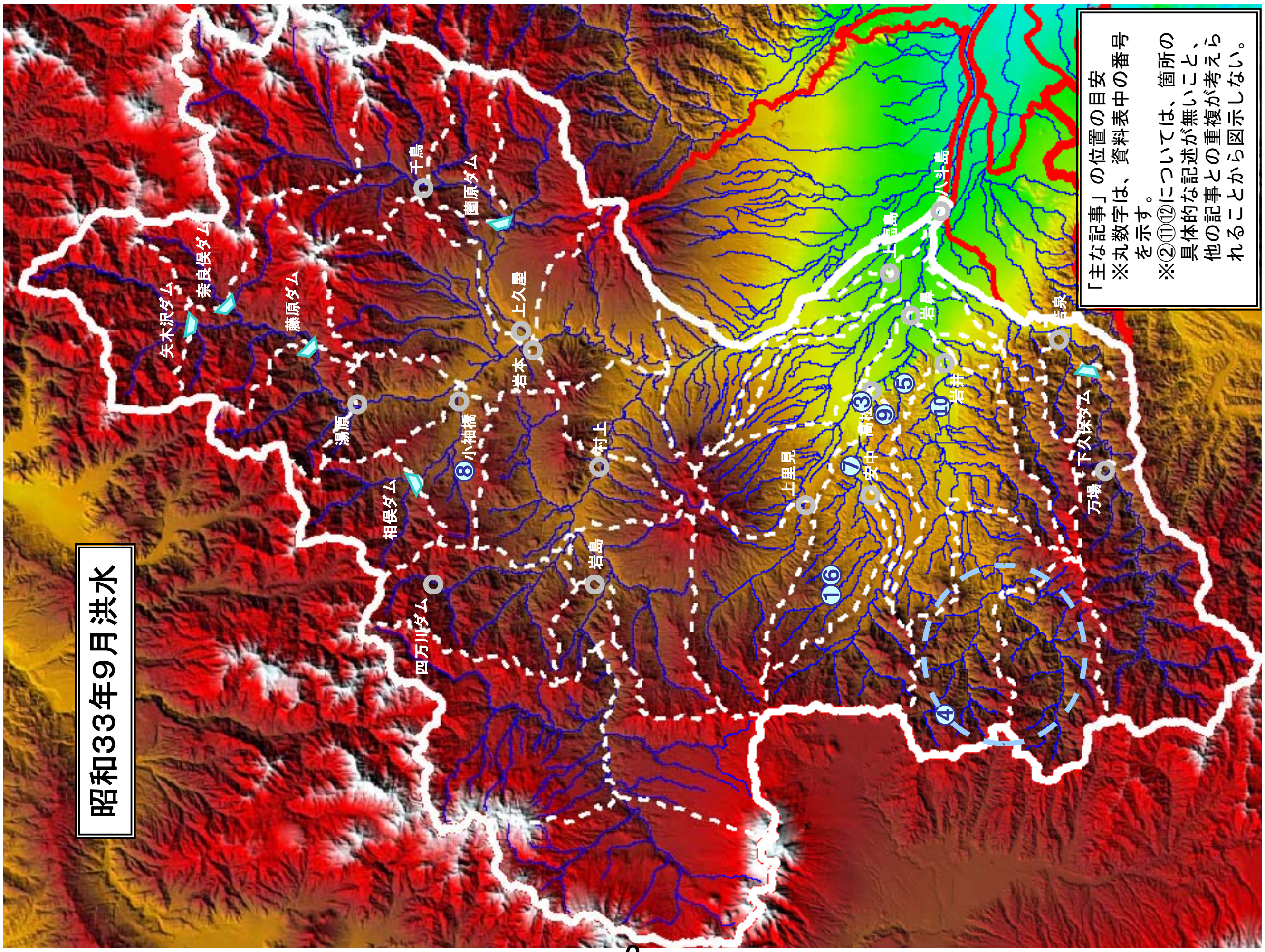
※出典：上毛新聞

◆昭和３４年８月洪水

番号	河川名	主な記事	記事掲載日
1	各河川 榛名白川	この豪雨で、西毛から中毛にかけて各河川の水が溢れ、…。県警本部でまとめた午前十時現在の被害状況　…堤防損壊一カ所（榛名白川）…	8月13日 夕刊
2	桃木川	前橋市では出水のもっともひどかったのは東部桃木川水域と西部石倉町、南曲輪町など下水道の不備なところ。…また桃木川水系では…半鐘が乱打されて消防団員（水防）約三十人が堤防決壊に備えるなど警戒にあたったが、さいわい被害は少なかった。	8月13日 夕刊
3	榛名白川	十三日午後四時現在、県警本部でまとめた県下の被災状況は次のとおり。…堤防損壊一カ所（榛名白川）	8月14日 朝刊
4	榛名白川	群馬郡箕郷町吉原地先榛名白川が一㍍四十センチ増水、このため、同町白川橋下流の堤防が濁流に洗われ、同日あさ長さ二十㍍にわたり破損し、消防団など水防隊百余人が出動して、…堤防の補強作業を行った。また、同日正午ごろ、同町上芝地先の榛名白川天神橋上下の堤防も五十㍍にわたり決かい、水防隊五十人が出動して補修作業にあたった。	8月14日 朝刊
5	（県内）	県警本部調べ（14日午前11時現在）　…堤防決壊１個所…	8月14日 夕刊
6	白倉川	…また甘楽町白倉では白倉川が決壊した。	8月14日 夕刊
7	（県内）	県警本部調べ（14日午後８時現在）　…堤防決壊４個所…	8月15日 朝刊
8	吾妻川	…主なものは吾妻川の嬬恋村三原で右岸の護岸が決壊（百㍍）…	8月15日 朝刊
9	吾妻川	十四日あさ八時半ごろ、吾妻郡嬬恋村三原では吾妻川が百十㍍五決壊し、民家二十戸約六十人が一時孤立…	8月15日 夕刊
10	（吾妻郡西部地区）	十五日長野原署でまとめた吾妻郡西部地区の第七号台風の被害つぎの通り。…堤防決壊十カ所、…	8月16日 朝刊

※出典：上毛新聞


昭和34年8月洪水
「主な記事」の位置の目安
※丸数字は、資料表中の番号を示す。
※⑤、⑦については、箇所の具体的な記述が無いこと、他の記事との重複が考えられることから図示しない。
矢木沢ダム
奈良俣ダム
藤原ダム
薗原ダム
相俣ダム
下久保ダム
八斗島
岩本
上久屋
小袖橋
村上
岩島
上里見
万場


昭和33年9月洪水
「主な記事」の位置の目安
※丸数字は、資料表中の番号を示す。
※②⑪⑫については、箇所の具体的な記述が無いこと、他の記事との重複が考えられることから図示しない。
矢木沢ダム
奈良俣ダム
藤原ダム
薗原ダム
相俣ダム
下久保ダム
八斗島
岩本
上久屋
小袖橋
村上
岩島
上里見
万場

２．K、P の設定（補足）について

新たな流出計算モデル（以下「新モデル」という。）における、流域定数 K、P の設定に当たっては、流域定数解析洪水ごと、K 等解析地点ごとに求めた K、P から、大きな洪水における流出量の再現性を考慮して、K 等解析地点ごとに、最大流量となる洪水の値を用いて、当該 K 等解析地点の K、P を求めた。

ここでは、K、P を中規模程度の洪水の値により流出計算を行うこととする。表 1 は、流域定数解析洪水ごとに K 等解析地点における Rsum と当該洪水の Rsa の関係を整理したもので、表中の○印が Rsum＞Rsa となり、K、P の解析が可能な洪水である。

流域定数解析洪水のうち K 等解析地点ごとに最大流量の半分程度の流量を目安として、飽和雨量に達していること及び流量や雨量データに欠測がないことなどを考慮して、表 1 の　印のように設定し、K 等解析地点ごとに K、P の設定を行った。なお、上里見地点については、最大流量の洪水以外では、Rsum が Rsa に達していないため、最大流量の洪水の K、P とし、奈良俣地点については、最大流量の半分相当の洪水がなかったため最大流量洪水の K、P とした。

表 2 に最大流量の洪水により算出した新モデルにおける K、P 及び中規模程度の洪水により設定した K、P を示す。